

# 大学改革、リカレント教育について

平成29年11月30日  
文部科学省

# 大学改革について

真に支援が必要な所得の低い家庭の子供たちに限って高等教育の無償化を図ることと併せ、大学等がイノベーション創出と社会課題解決の中核としての役割を果たすため、以下の取組による大学改革を推進

## 改革の方向性

### 1. 教育・研究の質保証

- 学修成果指標などの設定・公表
  - ・卒業時の到達水準と達成状況、在学中の学修時間、卒業率 等
- 既存の学内組織にとらわれない教育プログラムの提供
  - ・学部・学科等の組織に着目した授業科目編成から既存の学内組織に捉われないプログラムへの転換を可能とする仕組みの構築
  - ・教員が複数の学部で円滑に勤務することを可能にするための仕組みの構築
- カリキュラムマネジメントの確立
  - ・成績管理の徹底やナンバリングの導入、シラバスの充実 等
- 教員の教育力確保
- 質保証に関する取組の資源配分への反映(私学助成の配分ルール見直しなど)
- 外部人材の登用促進

### 2. 大学経営基盤の強化、連携・統合等の推進

- 経営力の強化
  - ・優れた学長のリーダーシップによる大学運営の促進
  - ・経営層への外部人材の登用
  - ・外部資金導入の大幅な増加
  - ・中長期計画策定の促進
- 国公立の枠を超えた連携・統合の可能性の検討
  - ・一法人一大学制の見直し、教員養成系の見直し、経営の幅広い連携・統合や事業譲渡的な承継方策(学部・学科単位での設置者変更等)の検討
- 経営困難な学校法人への対応
  - ・他法人との合併や撤退を含む早期の適切な経営判断を促進するよう経営指導を強化、経営破たんの際の処理手続きの円滑化方策の検討

### 3. リカレント教育の抜本的強化

- リカレント教育推進のための体制整備
  - ・リカレント推進本部の設置など学内体制の整備
  - ・産学官連携によるリカレント教育拠点を各地域に形成
  - ・大学と企業の協働によるリカレント教育プログラムの創設
- 放送大学、MOOCsなどオンライン教育の拡充

今後、具体的方策について、人生100年時代構想会議における議論を踏まえつつ、中央教育審議会等において関係者の意見も聞きながら引き続き検討

# 「多様な年齢層」の学びの拠点としての高等教育改革

労働生産性向上や人生100年時代の豊かな生き方を実現するため、生涯を通じたキャリアチェンジやキャリアアップなど、仕事・社会活動と学びの循環が重要。そのため、社会に出た後も大学・高等専門学校・専門学校で学び続けることができるよう、

- (1) 教育プログラムの有効性の向上のための**産学共同プログラムの開発促進**
- (2) 時間的コストの軽減のための**短期プログラムの開発促進**や放送大学等の**オンライン講座の大幅拡充**
- (3) 経済的コストの軽減のための**雇用保険制度等との連携**

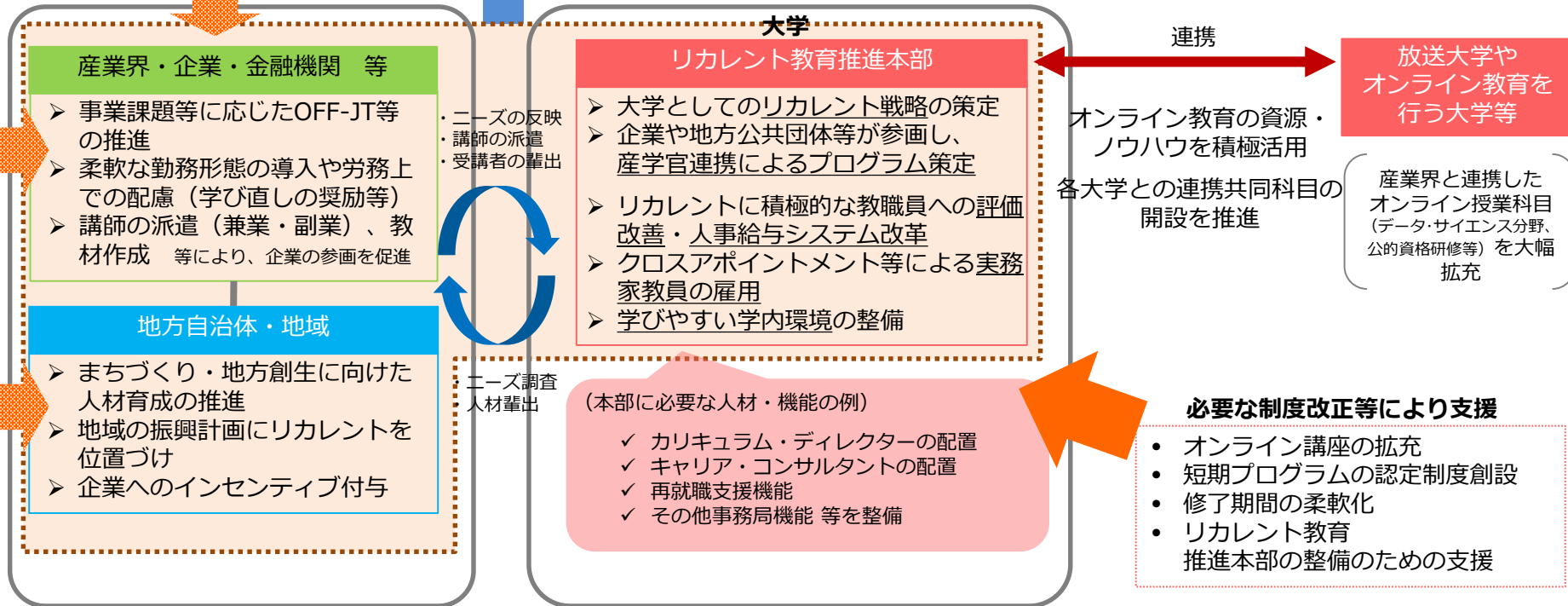
などを推進。これらを支える**大学等における体制整備**を進め、拠点としての機能を強化。

ニーズに応じた教育効果の高いプログラムを  
大学と産業界・地方公共団体等との連携により共同で開発・実施

(例) ・大学と産業界が連携し、ITや保育・看護等人材不足が顕著な分野のプログラムを作成  
・大学と産業界、地方公共団体等が連携し、地方創生や社会参画に係る分野のプログラムを作成 等

雇用保険給付金等と連携

地方創生、  
中小企業振興等と連携



プログラムの評価・改善を通して、関係者が学びの成果を共有し、持続的な人材育成を推進